

# 台風21号被災地 伊勢市を調査

**被害にあわれた皆様に  
お見舞いを申しあげます。**

10月22日に襲来した台風は、三重県下各市町で多くの災害をもたらしました。日本共産党は11月6日、本村伸子衆議院議員、武田良介参議院議員、三重県議団や伊勢市議団などが、現地では被害状況の調査を行い伊勢市副市長とも懇談しました。



**伊勢市**  
床上浸水 494 棟  
床下浸水 712 棟、  
**玉城町**  
床上浸水 282 棟  
床下浸水 210 棟

**県内の被害状況**  
死者 2 名、  
重軽傷者 9 名  
浸水  
20 市町 2298 棟  
10/30 現在

伊勢市一ノ木では、河川がどんどん増水し、床上浸水となり、家具の運びだし、泥だし、清掃等高齢者の方の苦勞を伺いました。合併して伊勢市となった旧小俣町の宮前地区の一部では、浸水した水位が高く、賃貸住宅の1階部分が浸水し、逃げ遅れた高齢者の方を地域の方が救助された様子など、人命にもかかわる深刻なお話もお聞きしました。

藤本伊勢市副市長との懇談では、1974年の七夕豪雨以来の災害ということでした。

罹災者証明の調査の職員がたりなく、県に要請している状況や、災害ゴミの支援も県に要請などされている状況がわかりました。



## 玉城町を調査

午後、県議団が玉城町を訪れ、浸水被害をうけた田丸駅周辺を歩いて調査し、住民の皆さんと懇談しました。

「こんな事ははじめて。こわかった」と住民の皆さん。外城田川から一気におしよせた浸水で市街地が広範囲に浸水し、車や電化製品はじめ、家財道具など被害が相当にのぼるものとみられます。「堤防などの整備が遅れている」「避難誘導のアナウンスがなかった」との声もお聞きしました。

今後、国や県、市町に要請していくことを約束しました。

## 台風21号、22号災害に対する 緊急の要望書 知事に提出

県議団は、11月10日、知事に11項目の緊急要請をしました。主な要望項目です。

- ・被災状況、罹災者証明発行のための調査を迅速にすすめるために、県職員の派遣や他の市町にも職員派遣を要請してください。
- ・災害救助法、被災者生活再建支援法にもとづく、被災者への支援を具体的に示してください。その基準に届かない人への市町の具体的要望に添えていくことを求めます。
- ・社会福祉施設、医療施設、公立学校施設、文化財などの災害復旧に対する支援をお願いします。
- ・農林・水産業などの復旧支援だけでなく、被災地の農業者の経営再開および経営安定化に向けた具体的な支援を望みます。
- ・商工業の被災者支援として特別融資制度や利子補給制度などを確立して下さい。
- ・宮川、勢田川、遅れている外城田川の被害実態の調査などを緊急に行い、原因を明らかにして浸水対策を強化してください。



今回の災害において、避難情報が届かなかつたり、遅れたり、聞こえなかつたりしたことをお聞きしました。具体的事例について対策を強化してください。

三重県は11月6日台風21号、22号による災害に「三重県災害見舞金」を創設し支給するとして、関係経費を12月補正予算に計上する予定だと公表しました。

**対象**  
県内の市町に被災者生活再建支援法が適用された災害。住家が全壊、半壊又は床上浸水した世帯。

**支給金額**  
全壊10万円、半壊5万円、床上浸水2万円です。



11月3日(金)  
第20回三重県障害者スポーツ大会(陸上競技)に来賓として出席しました。

学生時代にボランティアとして参加したのが懐かしかったです。